

## 第一次答申に向けた検討課題

## 「基本計画策定時の都道府県の役割」について

## 1. 中間まとめの記載

文化審議会文化財分科会企画調査会中間まとめ（抜粋）

Ⅲ. これからの時代にふさわしい文化財の継承のための方策

1. 総合的な視野に立った地域における文化財の保存・活用の推進強化

(2) 具体的な方策

(ア) 市町村による基本計画の策定

○都道府県の役割

都道府県は、基本計画を策定する市町村への指導助言や、小規模な市町村の基本計画策定への支援、広域での連携、研修の実施や人材育成などにおいて積極的な役割を果たすことが期待されるが、今後、都道府県と市町村の役割分担の在り方なども含め、引き続き検討が必要である。

## 2. これまでの議論の概要

- ・今回それぞれの市町村で基本計画を作ろうという方向で組み立てているが、財政的、人的な制約が非常に大きく、そのような点のバックアップが必要。この分野は県、この分野は市町村ではなく、相互補完すれば、早く、物もタイムリーにできる。
- ・小規模な自治体において基本計画を作れない場合に、県と協力して計画を策定するなど、県にもそれなりの責務を持たせることはあり得るのでは。
- ・市町村の体制が十分ではない中で基本計画を全国的に普及させていくためには戦略が必要で、都道府県にメッシュを粗くしたような第一次計画を作ってもらいたい。
- ・都道府県が策定する計画について、市町村とは総合把握の部分などはレベルが異なり、ベーシックなものを作るイメージではないか。
- ・県の関与の方法として、県は「方針」のようなものを策定することとしてはどうか。
- ・都道府県では市町村の実状がよくわからないので、都道府県が計画を作るのはなかなか難しいのではないかと思う一方で、都道府県としては市町村の情報は持つておく必要がある。
- ・防災対策としては都道府県がリストを把握しておく必要があるのでは。

### 3. 対応の方向性（案）

- ・都道府県は、現状において大所高所からの支援を行っているのみならず、地域の実情に応じて、市町村における文化財行政に対して指導・助言・援助を行うなど、より積極的な役割を果たしていることを踏まえ、例えば、都道府県においても、市町村が計画を策定する上で指針となり得る大綱的な方針・計画等を策定することができることとすることが考えられるのではないか。
- ・ただし、その場合にも、例えば以下のような論点についてどう考えるか。

#### （論点の例）

- ・ といった内容とするか  
→都道府県としての文化財の保存・活用の取組の方針や、保存・活用のための措置の内容（都道府県が事業主体となる事項や都道府県指定文化財に関する事項などが中心か）、都道府県の防災計画との関連など災害への対応、市町村による計画策定への支援の方針、計画未策定市町村における対応、関係部局との連携などが考えられるか
- ・特に、計画策定の大きな主眼の一つである未指定文化財を含めた総合的な把握については、市町村が行うことを想定していたが、都道府県が大綱的な方針・計画等を策定することとした場合、この点をどのように捉えるか  
→都道府県は、当該都道府県内の全域で文化財の把握が適切に進むよう、計画未策定市町村に対する積極的な支援や情報共有等に取り組むことが考えられるか

#### （総合把握における都道府県の取組のイメージ）

- ・市町村における取組情報の把握
- ・市町村によって行われた総合把握の情報集約・整理
- ・総合把握の進んでいない地域への支援や、必要な場合は都道府県による調査の実施の検討